

都市再生整備計画 モニタリングシート

駿府ふれあい地区(第4期)

令和7年3月
静岡市

様式3 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県	市町村名	静岡県市	地区名	駿府ふれあい地区(第4期)	面積	297.6ha		
交付期間	令和4年度 ～ 令和8年度	事後評価実施予定時期	令和8年度	モニタリング実施時期	令和6年度	交付対象事業費	7,394.0	国費率	0.5
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施済み、実施中、実施予定の事業	基幹事業	事業名				事業進捗の状況(順調か、遅れているか)		
			【道路】(市)本通4丁目常盤町2丁目2号線 【道路】(市)御幸町伝馬町線 【道路】(主)井川湖御幸線外2 【公園】駿府城公園 【地域生活基盤施設】(主)井川湖御幸線地下道 【地域生活基盤施設】各市営駐輪場 【高質空間形成施設】駿府城公園 【高質空間形成施設】(市)御幸町伝馬町線 【高質空間形成施設】静岡駅北口地下広場 【誘導施設 教育文化施設】御幸町9番伝馬町4番再開発ビル(学校法人静岡理科大学専門学校) 【既存建造物活用事業】静岡市民文化会館(中ホール・ロビー棟) 【既存建造物活用事業】静岡市民文化会館前駐車場 【エリア価値向上整備事業】静岡都心地区				順調に進捗している		
		提案事業	【地域創造支援事業】駿府城跡天守台野外展示魅力向上事業 【地域創造支援事業】駿府城公園お堀の水辺空間活用事業 【地域創造支援事業】駿府城公園修景計画作成事業 【地域創造支援事業】静岡市民文化会館再整備事業 【地域創造支援事業】静岡都心地区交通適正化事業 【地域創造支援事業】(都)北街道線空間活用検討事業 【地域創造支援事業】人宿町・人情通り空間活用検討事業 【地域創造支援事業】コンパクトなまちづくり推進事業 【地域創造支援事業】静岡駅北口地下広場空間活用事業 【地域創造支援事業】静岡駅南口駅前広場再整備事業 【地域創造支援事業】コ・クリエーションスペース運営事業 【事業活用調査】静岡駅北口駐車場再編計画事業 【事業活用調査】静岡駅えきまち空間再編事業 【事業活用調査】静岡都心地区まちなか再生事業 【事業活用調査】再開発促進地区内更新ビジョン作成事業 【事業活用調査】呉服町通線再整備検討事業 【事業活用調査】中間評価・事後評価				順調に進捗している		
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
			【道路】(市)紺屋町鷹匠町一丁目線			事業の適正化による		影響なし	
			【地域生活基盤施設】静岡市民文化会館(広場)			事業の適正化による		影響なし	
			【地域生活基盤施設】(市)呉服町通線地下道			事業の適正化による		影響なし	
			【高質空間形成施設】(市)御幸町鷹匠町2号線			事業の適正化による		影響なし	
			【高質空間形成施設】(市)呉服町通線			事業の適正化による		影響なし	
【高質空間形成施設】(市)南町一丁目下島線			事業の適正化による		影響なし				
提案事業		【事業活用調査】紺屋町準地下街再整備検討事業			事業名称変更による		影響なし		
新たに追加した事業	基幹事業	【高質空間形成施設】静岡駅北口地下広場			事業の適正化による		影響なし		
交付期間の変更	当初	令和4年度 ～ 令和8年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		－				
	変更	－							

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		モニタリング		目標達成見込み		総合所見	今後の対応方針
				基準年度		目標年度		計測年度					
	指標1	中心市街地または駿府城公園周辺の整備を活かした、にぎわいを創出	%	27.9	R3	50.0	R8	37.8	R6	あり		従前値から9.9ポイント増加しており、実施中の事業による一定の効果は認められるが、【既存建造物活用事業】静岡市民文化会館が次期持越しとなったことなどにより、目標達成は難しいと考えられる。	引き続き、駿府城公園整備事業などの中心市街地または駿府城公園周辺の整備を活かした、にぎわいの創出を推進する。
										なし	●		
	指標2	中心市街地の歩行空間の快適性	%	33.1	R3	50.0	R8	33.9	R6	あり	●	学校法人静岡理工科大学専門学校移設等事業の完了により、地下道からの新たな動線が生まれ、歩行者回遊性の向上が図られたことで従前値から増加しているものの、無電柱化事業や地下街築造などの各事業が未着手または着手直後であるため、大きな効果は発現していない。特に、中心市街地に来る頻度が少ない方、中心市街地から離れた地域の居住者や高齢者ほど「歩いて楽しいまち」と感じる割合が低い傾向にある。	中心市街地の歩行空間の快適性が増すように、引き続き無電柱化事業や地下街築造などの各事業を推進するとともに、中心市街地に来る頻度が少ない方や中心市街地から離れた地域の居住者、高齢者などをターゲットにしたイベントや情報発信の実施などの取組みを図る。
										なし			
指標3	歩行者交通量	人	5,680	R3	6,812	R8	5,558	R5	あり	●	市営駐輪場整備事業や人流データまちづくり活用推進事業などの各事業が着手直後または実施中であり、目に見えた効果が発現していないと考えられる。	さらに本地区の求心性を高めるために、引き続き市営駐輪場整備事業や人流データまちづくり活用推進事業をはじめとする各事業の推進を図る。	
									なし				
3)その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		モニタリング		目標達成見込み		総合所見	今後の対応方針
				基準年度		目標年度		計測年度					
	その他の数値指標	—	—	—	—			—	—			—	—
4)定性的な効果発現状況	まちづくりやお堀の水辺空間活用に関するワークショップ、水辺空間を活用した灯りの社会実験等を開催したことで、まちづくりに関する市民参加意識の向上が図られた。												

			実施内容		実施状況			今後の対応方針等	
5)実施過程の評価	モニタリング		各指標の目標値の達成状況を把握		都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	事業完了後の事後評価時に、各指標が目標値を上回るよう、各事業の推進を図る。 また、場合によっては指標の目標値の見直しや、その他指標の設定を検討する。		
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				
			各事業の進捗状況を把握		都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	事業の進捗状況に合わせて、今後の事業内容を再整理し、必要に応じて計画内容を変更する。		
	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
	住民参加プロセス		(道路／地域創造支援事業) (市)本通4丁目常磐町2丁目2号線／人宿町人情通りにぎわい空間創出事業 【意見交換会】		都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	ワークショップの意見を参考にエリア指針を作成する。		
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				
					モニタリング時点では実施していない				
			(道路／高質空間形成施設) (市)御幸町伝馬町線／(市)紺屋町鷹匠町一丁目線／(市)御幸町鷹匠町2号線 【意見交換会】		都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	ワークショップの意見を参考にエリア指針を作成する。		
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				
					モニタリング時点では実施していない				
			(高質空間形成施設／地域生活基盤施設) (市)呉服町通線／(市)呉服町通線地下道 【意見交換会】		都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	ワークショップの意見を参考にエリア指針を作成する。		
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				
					モニタリング時点では実施していない				
	(地域創造支援事業) 駿府城跡天守台野外展示魅力向上事業 【イベント】		都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	次年度の活動について検討する。				
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した						
			モニタリング時点では実施していない						
	(地域創造支援事業) 駿府城公園お堀の水辺空間活用事業 【ワークショップ】、【社会実験】		都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	次年度の活動について検討する。				
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した						
			モニタリング時点では実施していない						
(地域創造支援事業) (都)北街道線空間活用検討事業 【意見交換会】		都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	ワークショップの意見を参考にエリア指針を作成する。					
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
		モニタリング時点では実施していない							
(地域創造支援事業) 静岡駅北口地下広場空間活用事業 【イベント】		都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	次年度の活動について検討する。					
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
		モニタリング時点では実施していない							
(地域創造支援事業) コ・クリエーションスペース運営事業 【コ・クリエーションスペーススリニユアル＆交流会】		都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	次年度の活動について検討する。					
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
		モニタリング時点では実施していない							
持続的なまちづくり体制の構築		—		都市再生整備計画に記載し、実施できた		—			
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					
				モニタリング時点では実施していない					
6)モニタリングの所見	総合所見	順調	●	にぎわいを創出する事業では順調な効果が認められるほか、目に見えた効果が発現していない指標についても、各種事業が着手直後や実施中であることから、新たな課題に適切に対応しつつ各事業を確実に完了させることにより、「歴史資源と文化施設を活かし賑わいや活気を生み出すまちづくり」が形成されるものと判断する。	今後の事業の改善点	「歩いて楽しいまち」と感じる割合が低い傾向にある。中心市街地に来る頻度が少ない方や中心市街地から離れた地域の居住者、高齢者等をターゲットにしたイベントの実施や情報発信などの取組みを図る。 指標1の目標達成は難しいと考えられるため、都市再生整備計画第4回変更において新たな指標を追加し、事後評価実施時点での効果発現状況を評価する。			
要改善									

都市再生整備計画 モニタリングシート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1－① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2－① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2－② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2－参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3－① モニタリングの実施状況
- 添付様式3－② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3－③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4－① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4－② 効果発現要因の整理

(4) モニタリングの所見

- 添付様式5－① まちの課題の変化
- 添付様式5－② 総合所見・今後の事業の改善点

(5) 有識者からの意見聴取

- 添付様式6 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1－① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●	－	－	－
B. 目標を定量化する指標	●		－	駿府城公園周辺における平均滞在人口	静岡市民文化会館が時期計画へまたぐ見込みとなったことから、指標1を補完する目標として、新たな指標を設定することで、駿府ふれあい地区第4期の事業効果を測定する。
C. 目標値		●	－	－	－
D. その他()		●	－	－	－

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業											
事業	事業箇所名	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
道路	(市)本通4丁目常磐町2丁目2号線	378	電線共同溝 380m	379	電線共同溝 380m	経費増による	中心市街地の歩行空間の快適性に関する が、指標及び数値目標には影響なし		●		令和8年度完了見込み
	(市)御幸町伝馬町線	140	電線共同溝 120m	157	電線共同溝 120m	経費増による	中心市街地の歩行空間の快適性に関する が、指標及び数値目標には影響なし		●		令和6年度完了見込み
	(市)紺屋町鷹匠町一丁目線	90	電線共同溝 90m	—	—	事業の適正化による	中心市街地の歩行空間の快適性に関する が、指標及び数値目標には影響なし				—
	(主)井川湖御幸線外2	318	道路改良工事 (歩道拡幅等)	88	道路改良工事 (歩道拡幅等)	対象箇所の見直しによる	中心市街地の歩行空間の快適性に関する が、指標及び数値目標には影響なし		●		令和8年度完了見込み
公園	駿府城公園	926	公園整備 18ha	1,603	公園整備 18ha	事業内容の増による	にぎわいの創出に関するが、指標及び数 値目標には影響なし		●		令和8年度完了見込み
古都保存・緑地 保全等事業											
河川											
下水道											
駐車場有効利 用システム											
地域生活基盤 施設	静岡市民文化会館(広場)	119	26,734㎡	—	—	事業の適正化による	にぎわいの創出に関するため、都市再生整備 計画第4回変更において新たな指標を追加する				—
	静岡市民文化会館前駐車場	192	9,088㎡	—	—	事業の変更による(地域生活基盤施設 から既存建造物活用事業へ変更)	にぎわいの創出に関するが、指標及び数 値目標には影響なし				—
	(主)井川湖御幸線地下道	300	地下道整備 9m	370	地下道整備 9m	経費増による	中心市街地の歩行空間の快適性に関する が、指標及び数値目標には影響なし		●		令和6年度完了見込み
	(市)呉服町通線地下道	800	地下道整備 70m	—	—	事業の適正化による	中心市街地の歩行空間の快適性に関する が、指標及び数値目標には影響なし				—
	各市営駐輪場	87	駐輪場整備	87	駐輪場整備	変更なし	—	●			令和8年度完了見込み
高質空間形成 施設	駿府城公園	689	ライトアップ	454	ライトアップ	対象箇所の見直しによる	にぎわいの創出に関するが、指標及び数 値目標には影響なし		●		令和8年度完了見込み
	(市)御幸町鷹匠町2号線	180	道路空間の高質化 250m	—	—	事業の適正化による	中心市街地の歩行空間の快適性に関する が、指標及び数値目標には影響なし				—
	(市)御幸町伝馬町線	10	道路空間の高質化 120m	10	道路空間の高質化 120m	変更なし	—	●			令和8年度完了見込み
	(市)呉服町通線	110	道路空間の高質化 70m	—	—	事業の適正化による	中心市街地の歩行空間の快適性に関する が、指標及び数値目標には影響なし				—
	(市)南町一丁目下島線	100	道路空間の高質化 480m	—	—	事業の適正化による	中心市街地の歩行空間の快適性に関する が、指標及び数値目標には影響なし				—
	静岡駅北口地下広場	—	—	630	地下広場の高質化 1,715㎡	事業の適正化による	中心市街地の歩行空間の快適性に関する が、指標及び数値目標には影響なし	●			令和8年度完了見込み
高次都市施設											
誘導施設 教育文化施設	御幸町9番伝馬町4番再開発ビル (学校法人静岡理工科大学専門学校)	156	施設誘致	189	施設誘致	経費見直しによる	歩行者交通量に関するが、指標及び数値 目標には影響なし			●	計画通りに完了
生活拠点誘導 施設											
既存建造物活 用事業	静岡市民文化会館(中ホール・ロビー 棟)	2,100	14,502㎡	509	14,502㎡	事業内容の見直しによる	にぎわいの創出に関するため、都市再生整備 計画第4回変更において新たな指標を追加する		●		令和10年度完了見込み
	静岡市民文化会館前駐車場	—	—	8	9,088㎡	事業の変更による(地域生活基盤施設 から既存建造物活用事業へ変更)、事 業内容の見直しによる	にぎわいの創出に関するが、指標及び数 値目標には影響なし		●		令和8年度完了見込み
土地区画整理 事業											
市街地再開発 事業											

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

基幹事業

事業	事業箇所名	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
住宅街区整備事業											
バリアフリー環境整備事業											
優良建築物等整備事業											
住宅市街地総合整備事業											
街なみ環境整備事業											
住宅地区改良整備事業											
都心共同住宅供給事業											
公営住宅等整備											
都市再生住宅等整備											
防災街区整備事業											
復興促進事業											
エリア価値向上整備事業	静岡都心地区	26	人流データ まちづくり活用	6	人流データ まちづくり活用	事業内容の見直しによる	歩行者交通量に関連するが、指標及び数値目標には影響なし			●	計画通りに完了

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業											
事業	細項目	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
地域創造 支援事業	駿府城跡天守台野外展示魅力向上事業	100	AR/VRやHPの制作	203	AR/VRやHPの制作	経費増による	にぎわいの創出に関連するが、指標及び数値目標には影響なし		●		令和8年度完了見込み
	駿府城公園お堀の水辺空間活用事業	18	水辺空間の利活用について調査検討	8	水辺空間の利活用について調査検討	事業内容の見直しによる	にぎわいの創出に関連するが、指標及び数値目標には影響なし			●	計画通りに完了
	駿府城公園修景計画作成事業	9	修景計画の策定	9	修景計画の策定	変更なし	—			●	計画通りに完了
	静岡市民文化会館再整備事業	140	静岡市民文化会館の大規模改修	146	静岡市民文化会館の大規模改修	経費増による	にぎわいの創出に関連するが、指標及び数値目標には影響なし			●	計画通りに完了
	静岡都心地区交通適正化事業	16	道路空間再編検討	92	道路空間再編検討	事業内容の増による	中心市街地の歩行空間の快適性に関連するが、指標及び数値目標には影響なし		●		令和8年度完了見込み
	(都)北街道線空間活用検討事業	15	道路空間の利活用調査検討	15	道路空間の利活用調査検討	変更なし	—			●	計画通りに完了
	人宿町・人情通り空間活用検討事業	15	道路空間の利活用調査検討	15	道路空間の利活用調査検討	変更なし	—			●	計画通りに完了
	コンパクトなまちづくり推進事業	13	今後のまちづくりの見直しを図る	12	今後のまちづくりの見直しを図る	経費見直しによる	歩行者交通量に関連するが、指標及び数値目標には影響なし			●	計画通りに完了
	静岡駅北口地下広場空間活用事業	119	静岡駅北口地下道のリニューアル検討及び改修	33	静岡駅北口地下道のリニューアル検討及び改修	事業規模見直しによる	歩行者交通量に関連するが、指標及び数値目標には影響なし			●	令和8年度完了見込み
	静岡駅南口駅前広場再整備事業	334	静岡駅南口駅前広場の整備	306	静岡駅南口駅前広場の整備	事業内容の見直しによる	歩行者交通量に関連するが、指標及び数値目標には影響なし		●		令和8年度完了見込み
	コ・クリエーションスペース運営事業	26	共創拠点の運営	52	共創拠点の運営	事業期間の増による	歩行者交通量に関連するが、指標及び数値目標には影響なし			●	計画通りに完了
事業活用調査	静岡駅北口駐車場再編計画事業	6	静岡駅北口駐車場再編計画の立案	5	静岡駅北口駐車場再編計画の立案	経費見直しによる	歩行者交通量に関連するが、指標及び数値目標には影響なし			●	計画通りに完了
	静岡駅えきまち空間再編事業	5	静岡駅の交通結節点調査・検討	5	静岡駅の交通結節点調査・検討	変更なし	—			●	計画通りに完了
	静岡都心地区まちなか再生事業	54	静岡都心地区の再生方針と実現化方策の作成	116	静岡都心地区の再生方針と実現化方策の作成	事業内容の増による	歩行者交通量に関連するが、指標及び数値目標には影響なし		●		令和8年度完了見込み
	紺屋町準地下街再整備検討事業	134	良好な地下空間のあり方検討	—	—	事業名称変更による	中心市街地の歩行空間の快適性に関連するが、指標及び数値目標には影響なし				
	再開発促進地区内更新ビジョン作成事業	10	市街地再開発計画の作成	14	市街地再開発計画の作成	経費増による	歩行者交通量に関連するが、指標及び数値目標には影響なし		●		令和6年度完了見込み
	呉服町通線再整備検討事業	—	—	9	呉服町通線再整備検討	事業名称変更による、経費見直しによる	中心市街地の歩行空間の快適性に関連するが、指標及び数値目標には影響なし		●		令和7年度完了見込み
	中間評価・事後評価	10	駿府ふれあい地区(第4期)の中間評価、事後評価	10	駿府ふれあい地区(第4期)の中間評価、事後評価	変更なし	—		●		令和6年度、令和8年度完了見込み

(参考)関連事業

事業	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
		当初計画	モニタリング時	当初計画	モニタリング時		

添付様式2－① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指 標			データの計測手法と モニタリング値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		モニタリング (エ)		現段階での 目標達成 見込み		総合所見	今後の方針
		単位			基準 年度		基準 年度		目標 年度		実施 年度	あり	なし		
指標1	中心市街地または駿府城公園周辺の整備を活かした、にぎわいを創出	%	駿府城公園周辺整備を行うことにより、アンケートに回答した市民が「にぎわいが生まれた」と感じる割合			27.9	R3	50.0	R8	37.8	R6		●	従前値から9.9ポイント増加しており、実施中の事業による一定の効果は認められるが、【既存建造物活用事業】静岡市民文化会館が次期持越しとなったことなどにより、目標達成は難しいと考えられる。	引き続き、駿府城公園整備事業などの中心市街地または駿府城公園周辺の整備を活かした、にぎわいの創出を推進する。
指標2	中心市街地の歩行空間の快適性	%	歩道空間の整備により、アンケートに回答した市民が中心市街地が「歩いて楽しいまち」と感じる割合			33.1	R3	50.0	R8	33.9	R6		●	学校法人静岡理科大学専門学校移設等事業の完了により、地下道からの新たな動線が生まれ、歩行者回遊性の向上が図られたことで従前値から増加しているものの、無電柱化事業や地下街築造などの各事業が未着手または着手直後であるため、大きな効果は発現していない。 特に、中心市街地に来る頻度が少ない方、中心市街地から離れた地域の居住者や高齢者ほど「歩いて楽しいまち」と感じる割合が低い傾向にある。	中心市街地の歩行空間の快適性が増すように、引き続き無電柱化事業や地下街築造などの各事業を推進するとともに、中心市街地に来る頻度が少ない方や中心市街地から離れた地域の居住者、高齢者などをターゲットにしたイベントや情報発信の実施などの取組みを図る。
指標3	歩行者交通量	人	中心市街地主要地点（58地点）における、日曜日10時～17時の歩行者通行量の平均値（静岡地域中心商店街通行量・お買物調査から引用）			5,680	R3	6,812	R8	5,558	R5		●	市営駐輪場整備事業や人流データまちづくり活用推進事業などの各事業が着手直後または実施中であり、目に見えた効果が発現していないと考えられる。	さらに本地区の求心性を高めるために、引き続き市営駐輪場整備事業や人流データまちづくり活用推進事業をはじめとする各事業の推進を図る。

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2－② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標			データの計測手法と モニタリング値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		モニタリング (エ)		本指標を取り 上げる理由	総合所見	今後の方針
		単位			基準 年度		基準 年度		目標 年度		実施 年度			
その他の 数値指標1	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—
その他の 数値指標2	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—
その他の 数値指標3	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2－参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

まちづくりやお堀の水辺空間活用に関するワークショップ、水辺空間を活用した灯りの社会実験等を開催したことで、まちづくりに関する市民参加意識の向上が図られた。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3ー① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果	今後の方針等
指標の達成状況の計測と庁内組織による 検討	予定どおり実施した	●	【実施時期】令和6年度 【実施結果】 ・都市再生整備計画事業の進捗状況の把握 ・住民アンケートの実施(700件回収) ・歩行者通行量に関する統計資料の整理 ・上記調査資料を用いた目標値の達成見込みの検証	モニタリングの調査結果を参考に、各指標 が目標値を上回るよう各事業の推進を図 り、計画期間最終年度(令和8年度)に実施 を予定している事後評価にて指標の達成状 況を確認する。
	予定はなかったが実施した			

添付様式3ー② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の方針等
(道路／地域創造支援事業) (市)本通4丁目常磐町2丁目2号線／人宿町人情通りにぎわい空間創出事業 【意見交換会】	予定どおり実施した ● 予定はなかったが実施した モニタリング時点では実施していない	【実施頻度】3回 【実施時期】令和5年度 【実施結果】人宿町の無電柱化事業を進めるにあたり、どのような通りにしたいかの意見を聞いた。また、人宿町エリアの将来のまちづくりに関する意見交換を実施した。	ワークショップの意見を参考にエリア指針を作成する。
(道路／高質空間形成施設) (市)御幸町伝馬町線／(市)紺屋町鷹匠町一丁目線／(市)御幸町鷹匠町2号線 【意見交換会】	予定どおり実施した ● 予定はなかったが実施した モニタリング時点では実施していない	【実施頻度】4回 【実施時期】令和4年度～令和5年度 【実施結果】本エリアの事業者や自治会などが集まっている「二金会」の方々を中心に、御伝鷹エリアでの今後のまちづくりについての意見交換を実施した。御伝鷹エリアでの現状の課題を抽出し、今後の方向性について地元の意見を収集し、今後のまちづくりの方向性を整理した。	ワークショップの意見を参考にエリア指針を作成する。
(高質空間形成施設／地域生活基盤施設) (市)呉服町通線／(市)呉服町通線地下道 【意見交換会】	予定どおり実施した ● 予定はなかったが実施した モニタリング時点では実施していない	【実施頻度】8回 【実施時期】令和3年度～令和4年度 【実施結果】商業活動やイベント、防犯活動等関わりの深い「中央商店街連合会 まちづくり委員会」の方々を中心に、これからのまちづくりにプレイヤーを巻き込みながら、「個別ヒアリング」にて課題を抽出し、必要な視点について意見交換を実施した。	ワークショップの意見を参考にエリア指針を作成する。
(地域創造支援事業) 駿府城跡天守台野外展示魅力向上事業 【イベント】	予定どおり実施した ● 予定はなかったが実施した モニタリング時点では実施していない	【実施頻度】1回 【実施時期】令和5年度 【実施結果】駿府城跡天守台発掘の啓発活動の一環として、実際に発掘された金箔瓦を3Dスキャンし、チョコレートを流し込むためのシリコン型を小型に復元。天守台の発掘の事を学びながら楽しく参加できるイベントを開催した。	次年度の活動について検討する。
(地域創造支援事業) 駿府城公園お堀の水辺空間活用事業 【ワークショップ】、【社会実験】	予定どおり実施した ● 予定はなかったが実施した モニタリング時点では実施していない	【実施頻度】7回 【実施時期】令和4年度～令和5年度 【実施結果】駿府城公園に繋がりのある人が集い、駿府城公園中堀の魅力をさらに高めていくためのワークショップを通じて、中堀の水辺空間を活用した灯りの社会実験「すんぷらんぷ」を実施した。	次年度の活動について検討する。

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の方針等
(地域創造支援事業) (都)北街道線空間活用検討事業 【意見交換会】	予定どおり実施した ● 予定はなかったが実施した モニタリング時点では実施していない	【実施頻度】3回 【実施時期】令和5年度 【実施結果】本エリアの商店会や自治会で構成された「北街道まちづくり連絡会」の方々を中心に、北街道エリアの将来のまちづくりについて意見交換を実施した。	ワークショップの意見を参考にエリア指針を作成する。
(地域創造支援事業) 静岡駅北口地下広場空間活用事業 【イベント】	予定どおり実施した ● 予定はなかったが実施した モニタリング時点では実施していない	【実施頻度】4回 【実施時期】令和4年度～令和5年度 【実施結果】JR静岡駅北口地下広場において、お茶とお茶のおとも販売、各種イベント(茶詰めの儀、神楽上演会、出張博物館など)を行った。	次年度の活動について検討する。
(地域創造支援事業) コ・クリエーションスペース運営事業 【コ・クリエーションスペースリニュアル&交流会】	予定どおり実施した ● 予定はなかったが実施した モニタリング時点では実施していない	【実施頻度】1回 【実施時期】令和5年度 【実施結果】「静岡市コ・クリエーション」の運営者変更に伴い、改めて静岡市コ・クリエーションスペースの周知と認知度向上を図るため、イベントを開催した。	次年度の活動について検討する。
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した モニタリング時点では実施していない		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
—	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した モニタリング時点では実施していない	—	—	—
—	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した モニタリング時点では実施していない	—	—	—

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4ー① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
静岡市都市再生整備計画事業推進本部	本部長：都市局都市計画部長 本部長：総務局危機管理総室長、企画局次長、財政局 財政部長、市民局次長、観光交流文化局次長、環境局 次長、保健福祉長寿局健康福祉部長、子ども未来局次 長、経済局商工部長、都市局建築部長、建設局土木部 長、建設局道路部長、消防局消防部長、上下水道局下 水道部長、教育委員会事務局教育局次長	令和6年11月6日	都市局 都市計画部 景観まちづくり課
駿府ふれあい地区部会 (上記推進本部の下部組織)	部会長：景観まちづくり課長 部会員：歴史文化課長、都市計画課長、道路保全課 長、駿河道路整備課長	令和6年9月30日	都市局 都市計画部 景観まちづくり課

添付様式4-② 効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2		指標3			
指 標 名		中心市街地または駿府城公園 周辺の整備を活かした、にぎわ いを創出		中心市街地の歩行空間の快適 性		歩行者交通量			
種別	事業名・箇所名	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見
基幹事業	【道路】(市)本通4丁目常磐町2丁目2号線	—	従前値から9.9ポイント 増加しており、実施中の 事業による一定の効果 は認められるが、【既存 建造物活用事業】静岡 市民文化会館が次期持 越しとなったことなど により、目標達成は難し いと考えられる。	△	学校法人静岡理工科大 学専門学校移設等事業 の完了により、地下道 からの新たな動線が生 まれ、歩行者回遊性の 向上が図られたことで 従前値から増加してい るものの、無電柱化事 業や地下街築造などの 各事業が未着手または 着手直後であるため、 大きな効果は発現して いない。 特に、中心市街地に来 る頻度が少ない方、中 心市街地から離れた地 域の居住者や高齢者ほ ど「歩いて楽しいまち」と 感じる割合が低い傾向 にある。	—	市営駐輪場整備事業や 人流データまちづくり活 用推進事業などの各事 業が着手直後または実 施中であり、目に見えた 効果が発現していない と考えられる。		
	【道路】(市)御幸町伝馬町線	—		△		—			
	【道路】(主)井川湖御幸線外2	—		△		—			
	【公園】駿府城公園	△		—		—			
	【地域生活基盤施設】(主)井川湖御幸線地下道	—		△		—			
	【地域生活基盤施設】各市営駐輪場	—		—		△			
	【高質空間形成施設】駿府城公園	○		—		—			
	【高質空間形成施設】(市)御幸町伝馬町線	—		△		—			
	【高質空間形成施設】静岡駅北口地下広場	—		—		—			
	【誘導施設 教育文化施設】御幸町9番伝馬町4番再開発ビル(学校法人静岡理工科大学専門学校)	—		○		△			
	【既存建造物活用事業】静岡市民文化会館(中ホール・ロビー棟)	△		—		—			
	【既存建造物活用事業】静岡市民文化会館前駐車場	△		—		—			
	【エリア価値向上整備事業】静岡都心地区	—		—		△			
	【地域創造支援事業】駿府城跡天守台野外展示魅力向上事業	△		—		—			
提案事業	【地域創造支援事業】駿府城公園お堀の水辺空間活用事業	△		—		—			
	【地域創造支援事業】駿府城公園修景計画作成事業	△		—		—			
	【地域創造支援事業】静岡市民文化会館再整備事業	△		—		—			
	【地域創造支援事業】静岡都心地区交通適正化事業	—		—		△			
	【地域創造支援事業】(都)北街道線空間活用検討事業	—		△		—			
	【地域創造支援事業】人宿町・人情通り空間活用検討事業	—		△		—			
	【地域創造支援事業】コンパクトなまちづくり推進事業	—		—		△			
	【地域創造支援事業】静岡駅北口地下広場空間活用事業	—		—		△			
	【地域創造支援事業】静岡駅南口駅前広場再整備事業	—		—		△			
	【地域創造支援事業】コ・クリエーションスペース運営事業	—		—		△			
	【事業活用調査】静岡駅北口駐車場再編計画事業	—		—		△			
	【事業活用調査】静岡駅えきまち空間再編事業	—		—		△			
	【事業活用調査】静岡都心地区まちなか再生事業	—		—		△			
	【事業活用調査】再開発促進地区内更新ビジョン作成事業	—		—		△			
	【事業活用調査】呉服町通線再整備検討事業	—		△		—			
	【事業活用調査】中間評価・事後評価	—		—		—			
関連事業									

※指標改善への貢献度
◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献している。
○：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献している。
△：完成直後又は事業開始直後のため、効果の発現に至っていない。
×：事業が完成したが、期待通りの効果を発揮していない。
—：評価できない。
〔 未着手又は事業中のため評価できない、
事業と指標とに関係がないので評価できない 〕

今後の方針等	引き続き、駿府城公園整備事業などの中心市街地または駿府城公園周辺の整備を活かした、にぎわいの創出を推進する。	中心市街地の歩行空間の快適性が増すように、引き続き無電柱化事業や地下街築造などの各事業を推進するとともに、中心市街地に来る頻度が少ない方や中心市街地から離れた地域の居住者、高齢者などをターゲットにしたイベントや情報発信の実施などの取組みを図る。	さらに本地区の求心性を高めるために、引き続き市営駐輪場整備事業や人流データまちづくり活用推進事業をはじめとする各事業の推進を図る。	
--------	--	--	---	--

(4) モニタリングの所見

添付様式5-① まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	モニタリングの時点で達成されたこと (課題の改善状況)	交付期間中に解決すべき 残された課題	交付期間中に発生した 新たな課題
歴史資源と文化施設を活かしたにぎ わい創出	実施中の駿府城公園エリアライトアップ事業など により、歴史資源を活かしたにぎわいが創出さ れている。	駿府城公園整備事業や駿府城公園エリアライトアップ事 業などの各事業を交付期間中に確実に完了させる。 市の歴史文化に関連する各種事業、イベント等を引き続 き実施する。	事業は確実に進んでいるが、【既存建造物活用 事業】静岡市民文化会館が次期持越しとなった ことなどにより、指標1の目標達成は難しいと考 えられる。 また、モニタリング時のアンケート結果から、特 に、中心市街地に来る頻度が少ない方や中心市 街地から離れた地域の居住者、高齢者等ほど 「歩いて楽しいまち」と感じる割合が低い傾向に ある。
ウォーカブルな街並みの形成	学校法人静岡理工科大学専門学校移設等事業 の完了により、地下道からの新たな動線が生ま れ、歩行者回遊性の向上が図られた。 無電柱化事業を進めるにあたってのワークショッ プを開催し、将来のまちづくりに関する意見交換 を実施した。	無電柱化事業や地下街築造などの各事業を交付期間中 に確実に完了させる。 道路空間等の利活用に向けた検討を継続して行う。	
まちなかの交流人口を増やし地域活 性化	「静岡市コ・クリエーション」の運営者変更に伴 い、静岡市コ・クリエーションスペースの周知と認 知度向上を図るためのイベントを開催した。	市営駐輪場整備事業や人流データまちづくり活用推進 事業などの各事業を交付期間中に確実に完了させる。 官民協働や市民参画のまちづくりを継続して推進する。	

添付様式5－② 総合所見・今後の事業の改善点

総合所見		今後の事業の改善点		
			具体的項目	内容
順調	●	事業の進め方の工夫	特定の市民属性をターゲットとしたイベントや情報発信の実施	「歩いて楽しいまち」と感じる割合が低い傾向にある、中心市街地に来る頻度が少ない方や中心市街地から離れた地域の居住者、高齢者等をターゲットにしたイベントの実施や情報発信などの取組みを図る。
計画・事業の進め方の改善が必要			—	—
事業が確実に進んでいることや、各事業の完了に伴い目標の達成が期待されることから、「順調」と判断する。		都市再生整備計画の見直しの必要性	目標を定量化する指標	指標1の目標達成は難しいと考えられるため、都市再生整備計画第4回変更において新たな指標を追加し、事後評価実施時点での効果発現状況を評価する。
			—	—
			—	—

(5) 有識者からの意見聴取

添付様式6 有識者からの意見聴取

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
志村真紀(横浜国立大学地域連携推進機構准教授) 石川宏之(静岡大学グローバル共創科学部准教授) 松本亨(日本技術士会中部本部静岡県支部) 青野志能生(公益財団法人静岡市まちづくり公社理事長)	令和7年2月5日	都市局 都市計画部 景観まちづくり課

有識者の意見	【質疑応答】 ・アンケート調査の回答者、回答数、周知方法について ⇒(市の回答)アンケート回答に対してポイントを付与する民間サービスを利用し、登録者数は1万2千です。回答数は、統計上700人で十分と判断しました。アンケート調査の実施についてHPでは案内していませんが、回答者の居住地、年代ともバランスよく取れています。 ⇒(有識者の意見)ポイント目的の利用者という属性があることを考慮する必要がある。今後、広く市民の意見を取れる方法を考えたほうがよい。 ・歩行者交通量について ⇒(市の回答)11月の第三土曜に毎年実施しており、昨年度の調査日の天候は晴れ19.1℃です。 ⇒(有識者の意見)コロナ禍以前への戻し方や今年の猛暑のような環境が与える影響が課題と感じている。これまで、ベンチの設置やにぎわい創出の取組が多かったが、暑さ・日射・風雨への対策を図ったデザイン・設えが必要と考えられる。 ・駿府城公園の整備について ⇒(市の回答)公園の位置付けは総合公園であり、観光を含む全市的な機能を備えた公園であるため、市民の憩い・観光の両面を大事にしています。歴史を扱うため観光的な要素は強いものの、市民の憩いの場としての整備も進めています。 ⇒(有識者の意見)駿府城公園の整備をうまく活用し、新たな指標を伸ばしてほしい。 ・回遊性向上施策に関する官民連携の取組み状況について ⇒(市の回答)ILSと協働で回遊性の向上にむけて、市民が日常的に楽しめる環境を目指して進めています。 【その他意見】 ・朝の時間帯に、伝馬町を通り駿府城公園へ向かうと思われる外国人がいるため、インバウンドの効果があると思う。 ・静岡大学の課題として学生にまちをどう良くするか提案させたところ、ホリノテラスの活用が挙げられた。回遊性には連続したプラットフォームがあると繋げやすくなると思う。
--------	---